

日本中小型クオリティ バリュー株ファンド

【愛称：花の山】

追加型投信／国内／株式

日経新聞掲載名：花の山

2020年10月13日から2021年9月3日まで

第 **3** 期 償還日：2021年9月3日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じてわが国の中小型株に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。ここに当期の運用状況等をご報告いたします。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

償還価額(償還日)	12,397円67銭
純資産総額(償還日)	59百万円
騰落率(当期)	+16.3%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年10月13日から2021年9月3日まで)

基準価額等の推移



※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	10,658円
償還日	12,397円67銭
騰落率	+16.3%

※当ファンドの参考指数は、Russell / Nomura Small Capインデックス(配当込み)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2020年10月13日から2021年9月3日まで)

当ファンドは、日本中小型クオリティバリュー株マザーファンドへの投資を通じて、わが国の中小型株に実質的に投資しました。

上昇要因

- 自動車向けなどの温度センサーが伸長した芝浦電子、これまでの水処理関連に加えて病院への殺菌装置を育成した荏原実業、「G I G Aスクール構想」需要の恩恵を享受したダイワボウホールディングス、電子部品向け材料に加え有機E Lディスプレイの材料が伸長したフルヤ金属など、「コロナ禍」の中でも高い業績を上げている銘柄が上昇したこと

下落要因

- イベント関連や保育など新型コロナの影響が長引いた銘柄群が下落したこと
- これまでの巣籠もり需要の一巡で小売が下落したこと
- 建設関連ではコロナ影響は軽微だったものの、案件の端境期となった能美防災やビーアールホールディングスが奮わなかったこと

1万口当たりの費用明細(2020年10月13日から2021年9月3日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	191円	1.621%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は11,765円です。
(投信会社)	(92)	(0.786)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(92)	(0.786)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.049)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.059	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(7)	(0.059)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.008	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(-)	(-)	
(監査費用)	(1)	(0.008)	
(その他)	(-)	(-)	
合計	199	1.688	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

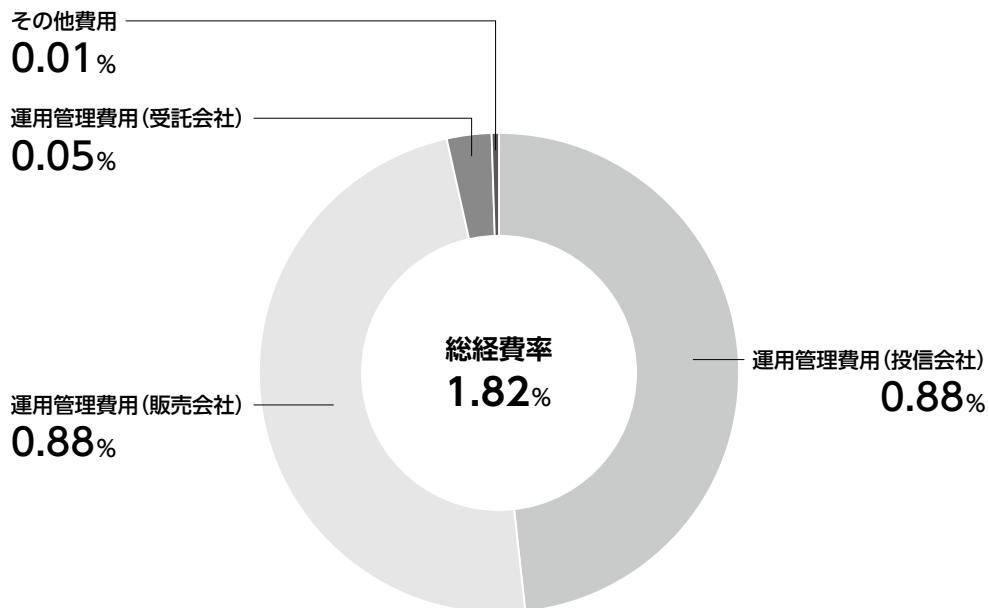
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

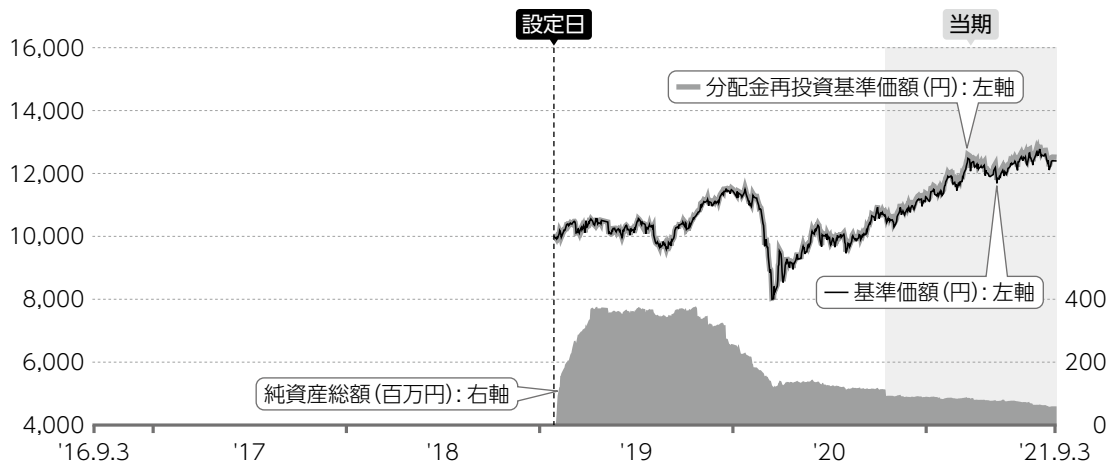
※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.82%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2016年9月3日から2021年9月3日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2019年1月25日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2019.1.25 設定日	2019.10.10 決算日	2020.10.12 決算日	2021.9.3 償還日
基準価額	(円)	10,000	10,322	10,658	12,397.67
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	50	50	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	3.7	3.7	16.3
参考指数騰落率	(%)	—	2.6	6.1	16.1
純資産総額	(百万円)	1	366	113	59

参考指数について

※当ファンドの参考指数は、Russell / Nomura Small Capインデックス(配当込み)です。

※参考指数は投資対象資産の動向を示すために記載しています。

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

投資環境について(2020年10月13日から2021年9月3日まで)

期間を通じて、日本国内株式市場は上昇しました。

2020年10月から12月の日本株式市場は、発足した菅内閣への期待や、米大統領選挙でバイデン氏が勝利を確実にしたことなどにより上昇しました。

2021年1月から4月にかけては、新型コロナウイルスの変異ウイルスなどのマイナス要因と、金融緩和の継続や米インフラ投資計画などのプラス要因が、相殺され一進一退となりました。

5月から8月にかけて日本国内株式市場は、概ねもみ合いで推移しました。米国での利上げの前倒し観測や国内企業決算の二極化が鮮明となったことで下落したものの、ワクチン接種の進んだ先進国でのコロナ収束傾向から、戻り歩調となりました。その後、東京都の緊急事態宣言下での五輪となり、変異ウイルスによる感染の再拡大で軟調な推移となりました。8月下旬以降は国内製造業の好業績がプラス要因となり底固い動きとなり償還日を迎えました。

ポートフォリオについて(2020年10月13日から2021年9月3日まで)

当ファンド

主要投資対象である日本中小型クオリティバリュー株マザーファンドを期間を通じて組み入れました。その後、2021年9月の償還に向けてマザーファンドを売却し、2021年9月3日に繰上償還いたしました。

日本中小型クオリティバリュー株マザーファンド

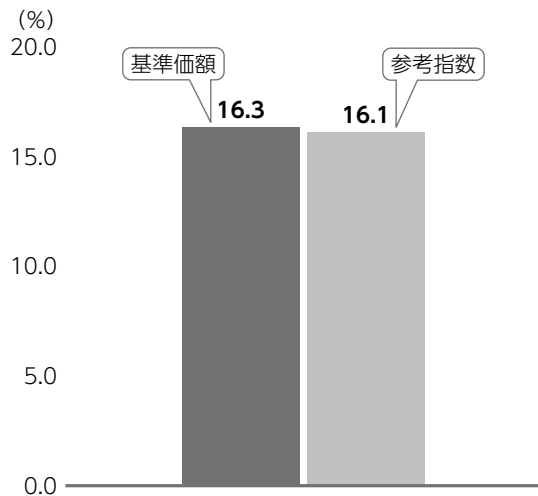
期間の騰落率は、+22.5%となりました。当期1年間の期間は新型コロナウイルス感染症の影響が続き、国内株式市場は一進一退の動きを示したものの、前期1年間に比べるとやや落ち着きを取り戻しました。

当ファンドは一貫して底堅い利益を創出できる中小型の割安株への投資を徹底しており、こうした落ち着きを取り戻した段階で物色が進みます。一方で、業績に安定感のある大型株の物色が中小型株よりも進んだため、上昇率は大型株が中小型株よりも高いものとなりました。

結果、ファンドの基準価額の上昇率は中小型株の参考指数に対してはやや高いパフォーマンスとなりましたが、市場全体の上げに対しては及びませんでした。

ベンチマークとの差異について(2020年10月13日から2021年9月3日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてRussell / Nomura Small Capインデックス(配当込み)を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2020年10月13日から2021年9月3日まで)

償還のため、該当事項はございません。

2 お知らせ

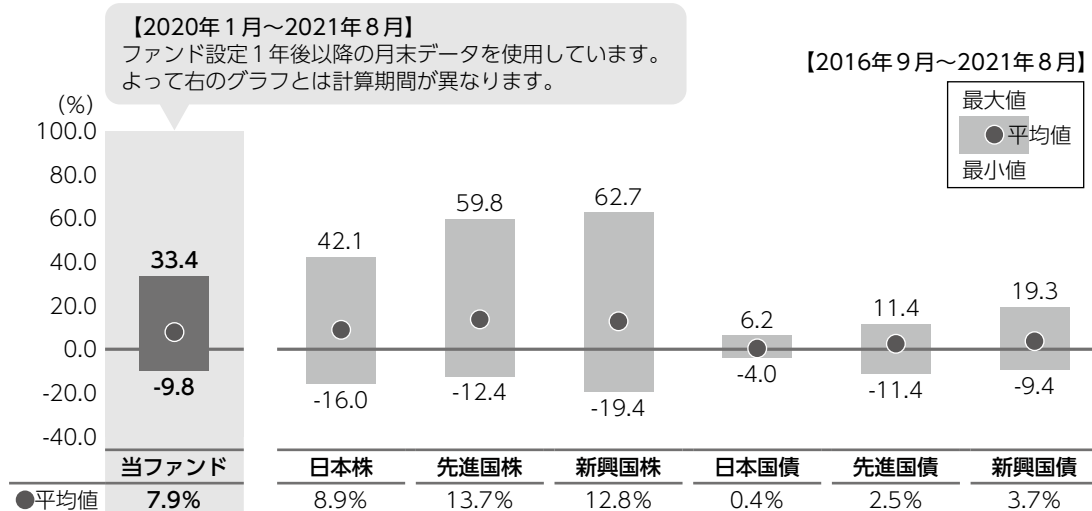
約款変更について

該当事項はございません。

3 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式
信 託 期 間	2019年1月25日から2021年9月3日まで
運 用 方 針	マザーファンドへの投資を通じてわが国の中小型株に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 日本中小型クオリティバリュー株マザーファンド わが国の中小型株式
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■わが国の中小型株に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■徹底的なリサーチに基づくボトムアップ・アプローチにより、成長の持続性とクオリティ等を考慮したファンダメンタルズ価値に対して株価水準が割安である銘柄を選別し、投資します。
組 入 制 限	<p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への実質投資割合には制限を設けません。 ■外貨建資産への直接投資は行いません。 <p>日本中小型クオリティバリュー株マザーファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合には制限を設けません。 ■外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年10月10日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

4 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	<p>TOPIX(配当込み)</p> <p>株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。</p>
先進国株	<p>MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース)</p> <p>MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。</p>
新興国株	<p>MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</p> <p>MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。</p>
日本国債	<p>NOMURA-BPI(国債)</p> <p>野村証券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。</p>
先進国債	<p>FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)</p> <p>FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。</p>
新興国債	<p>JPMオルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)</p> <p>J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。</p>

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

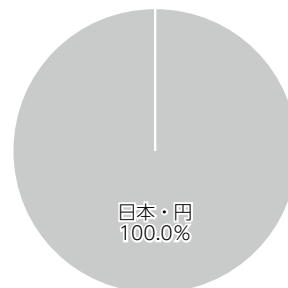
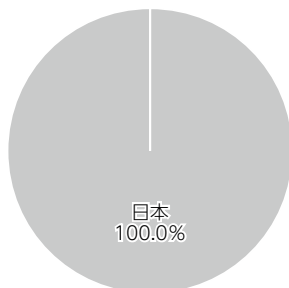
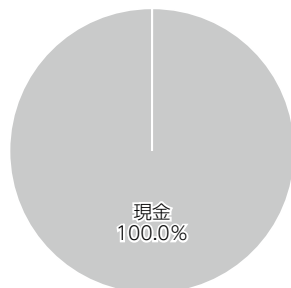
5 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容(2021年9月3日)

組入れファンド等

償還日現在の組入れはありません。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第3期末 2021年9月3日
純資産総額	(円)	59,522,942
受益権総口数	(口)	48,011,386
1万口当たり基準価額	(円)	12,397.67

※当期における、追加設定元本額は3,259,095円、解約元本額は61,699,245円です。

6 償還を迎えて

当ファンドは、2021年9月3日に繰上償還となりました。

皆さまのこれまでのご愛顧に御礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。